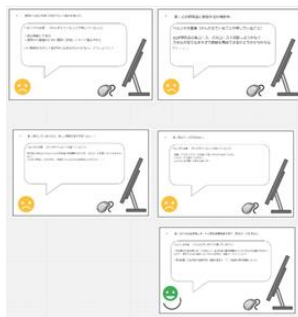


A. UXデザイン実践（「演習コースI」と合同）

SQIP 研究会サイトの利用状況と改善アイデアを検討する演習を実施した。6つのチームに分かれて、現役研究員による申し込みシーン振り返りを行い、ペルソナを定義したうえで、理想の体験を描いたストーリーボードを作成した。また、プロトタイプの概要イメージを作成し、そのユーザビリティについて検証を行った。以下は、演習で使用したバーチャルボード Miro の画面である。（→ 本編 2. 年間活動内容 2021.07.30 実践）

A.1 チーム 1



コマ	必要な機能	必要な情報
起	検索機能	目的に応じた検索結果の表示
承	コースごとの検索機能	検索結果の絞り込み
転	検索条件をまとめる機能	絞り込みの絞り込み
結	検索結果の表示	絞り込みの結果の表示

質問に回答することで適切なコースを選べる



A.2 チーム 2

- ペルソナ
 - ・経験：PRJのリーダーを複数経験
 - ・年齢：20代後半～30代前半
 - ・性別：指定せず
 - ・研究会参加実績：なし
 - ※会社で3名の参加枠がある
- 参加の理由(ニーズ)
 - ・大きな案件を担当したい
 - ・ソフトウェアの基礎を習得したい
- 気にすること
 - ・難易度（論文は難易度高い？）
 - ・恥をかきたくない



A.3 チーム 3



A.4 チーム4

メンバーの研究参加の理由

- 業務: 監査プロジェクトに合わせた監査をしたい
- ⇒様々なプロジェクトの特徴を知りたい。
- 業務: 監査、アセスメント、分析
- 開発に対して正しい知識・情報を知りたい
- ソフトウェア工学を実践的に一通り学べる

メンバーの理由

- 業務: ソフトウェア開発
- 基礎的な知識を学びたい。
- 演習を通して、実践したい。

ターゲットとするペルソナ

- 30才男性
- これから品質管理業務を行う予定
- SQIPに参加することは決まっている

メンバーの理由

- 業務: 品質管理業務
- これから品質管理業務をする
- 前の職務は?
- 社内からのニーズは?

取り急ぎのHPの改善案

- SQIPとは何かを紹介することを焦点に?
- 文字が多くて分かりづらい?

SQIPの入口

- 上司から
- シンポジウム
- 勉強会

ターゲットとするペルソナ

- 30才男性
- これから品質管理業務をする
- 前の職務は?
- 社内からのニーズは?

必要機能

- 必要機能
- 必要情報

1.起

2.承

3.転

4.結

コマ

起

承

転

結

ソフトウェア品質管理研究会 SQIP

今年度のコースラインナップ

- 演習コース
- 基礎コース
- 実践コース
- 研修コース

お悩みの方は

色コースの区別
難易度手前、月数特長
よくある質問

- ①研究参加までの体験を振り返る
 - 社内でも上司から紹介された。
 - 先輩がシンポジウムで発表した際にSqipを知った
 - 上司がエントリーして事後報告
- ②改善すべき点を洗い出す
 - 必要な情報へのアクセスがしにくい字が多くバツとランナツがわからない、必要な情報を得るためには時間を深く掘る必要がある)
- ③SQIP研究会のサイトを利用する理想的な体験を考える
 - 研修内容のバリエーションがバツとわかる
 - 研究(演習)の進捗感がわかる(大家かどうか)
 - 内容のキーワードがあったり、研究内容がわかると社内の申請プロセスを進めやすい
- ④誰のどんなニーズをサイトで解決したいのかチーム毎に決める
 - 研メンバーにとって
 - 紹介した人にとって
 - エントリー手続きする人にとって

「新橋1号」OPEN DAY - 演習 - 夢路の不安な研修生、研修生決定に迎える1 - 研修

企業・組織の研修活動、研修生決定するまでの流れ

ソフトウェア品質管理研究会 (SQIP) は、企業や個人向けにソフトウェア品質管理に関する研修を提供しています。研修内容は、ソフトウェア品質管理の基礎から実践まで幅広くカバーしています。研修生決定後には、企業や個人に合わせたサポートを提供しています。

研修内容	2024年12月～2025年1月(予定)
研修期間	全3回(月曜・火曜・水曜)
研修時間	朝9:00～12:00(予定)
研修場所	東京(予定)
研修費用	研修費用(研修料)は、研修生決定後、企業や個人に合わせたサポートを提供しています。

#基礎 #演習 #講師

#3年目～5年目

検索

- 基礎
- 演習
- 講師
- 3～5年目

SQIPサイトの初期ページ

ペルソナ: 演習を通してソフトウェアの基礎を学びたい SQIPに参加することは決まっている SQIPサイトの情報からどのコースにするか検討

想定シナリオ: 「演習」ソフトウェア工学の基礎」を申し込む

- 演習コースを選ぶのは、自然じゃないソフトウェアの基礎を「演習」を通して学びたい人は、「▼基礎コース」から選ぶ演習はハードルが高い
- ペルソナには演習コースで遊ぶ強い動機が必要そして、紹介ページにはキーワードなどがあるよ
- 全てのコースを見て、比較してから決める
- クリックしたらアコーディオンが開くかどうか分かりにくい
- 別のアコーディオンを開いたら開きっぱなしなのどうか
- 飛ばないなら飛べない方が
- 「お悩みの方は」とは...?
 - ⇒コースの選択に悩む方は
 - 途中から変更、体験

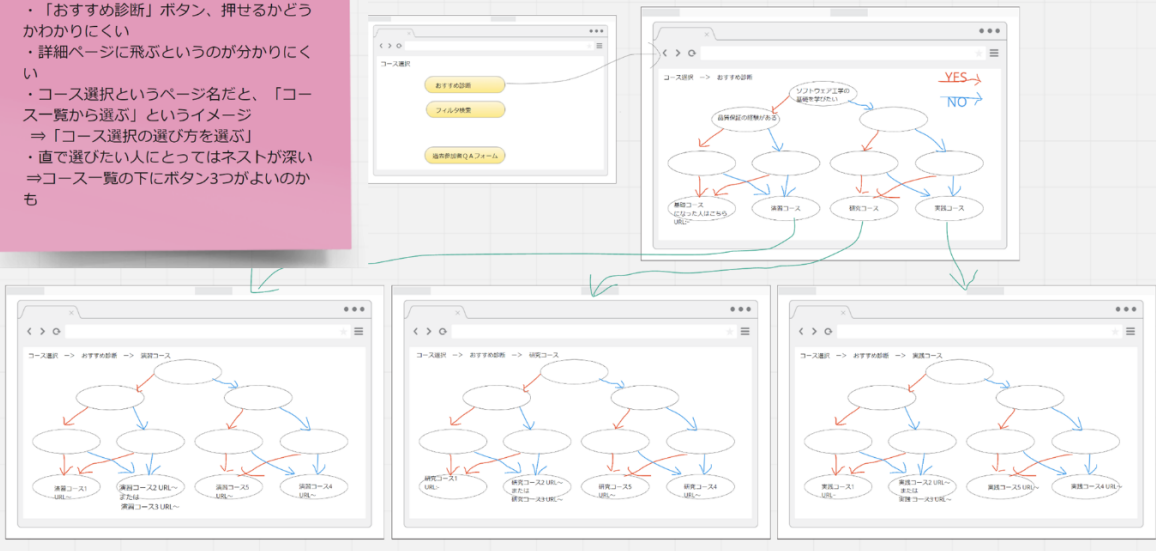
キーワード

A.5 チーム 5

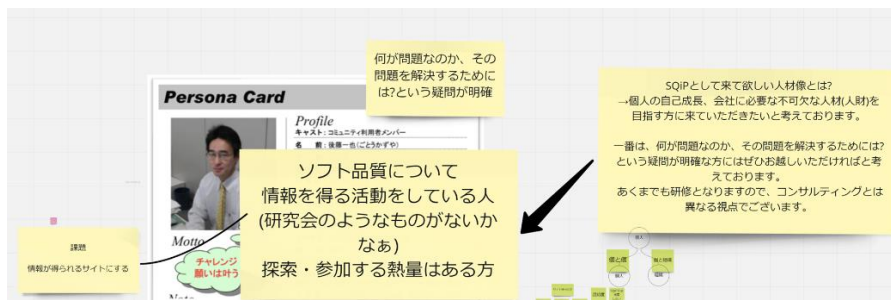
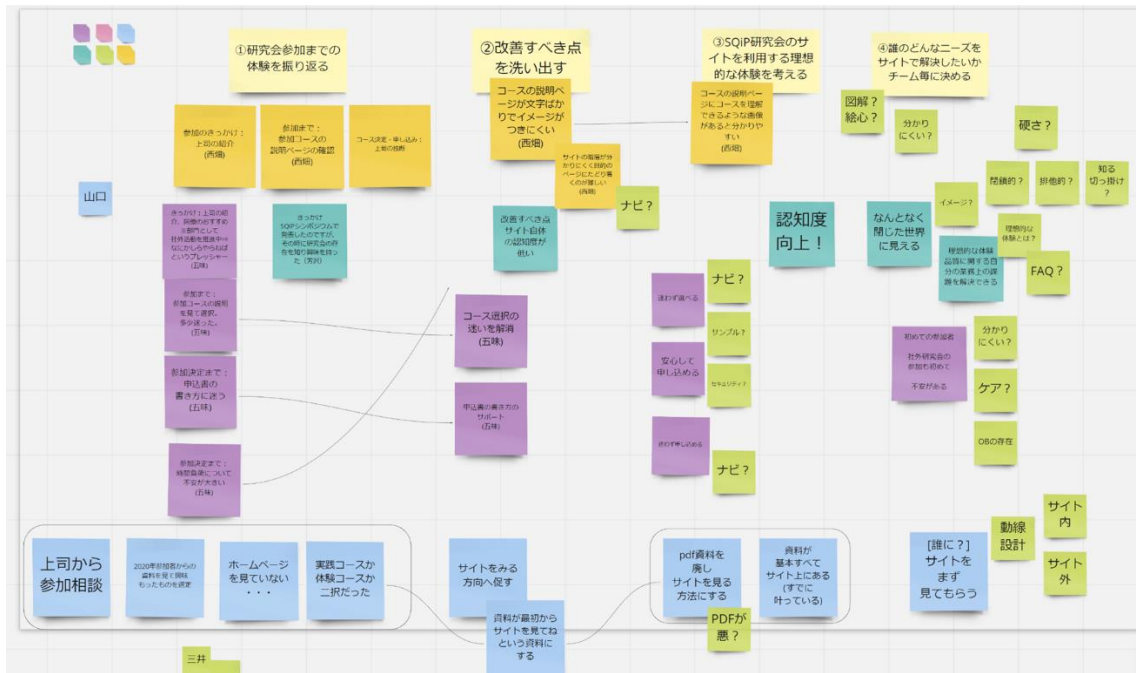


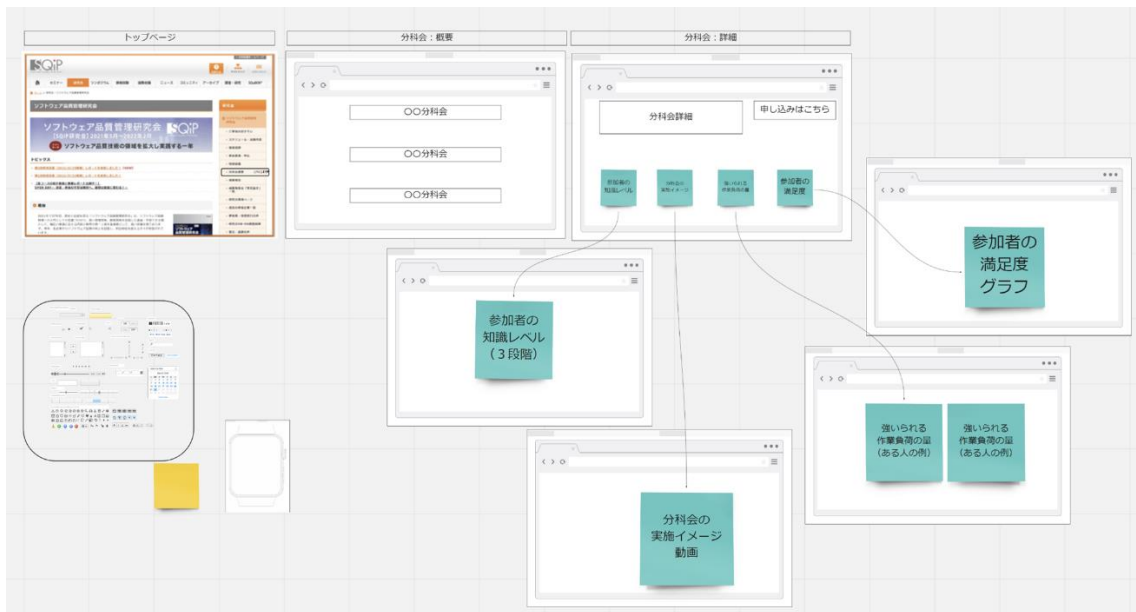
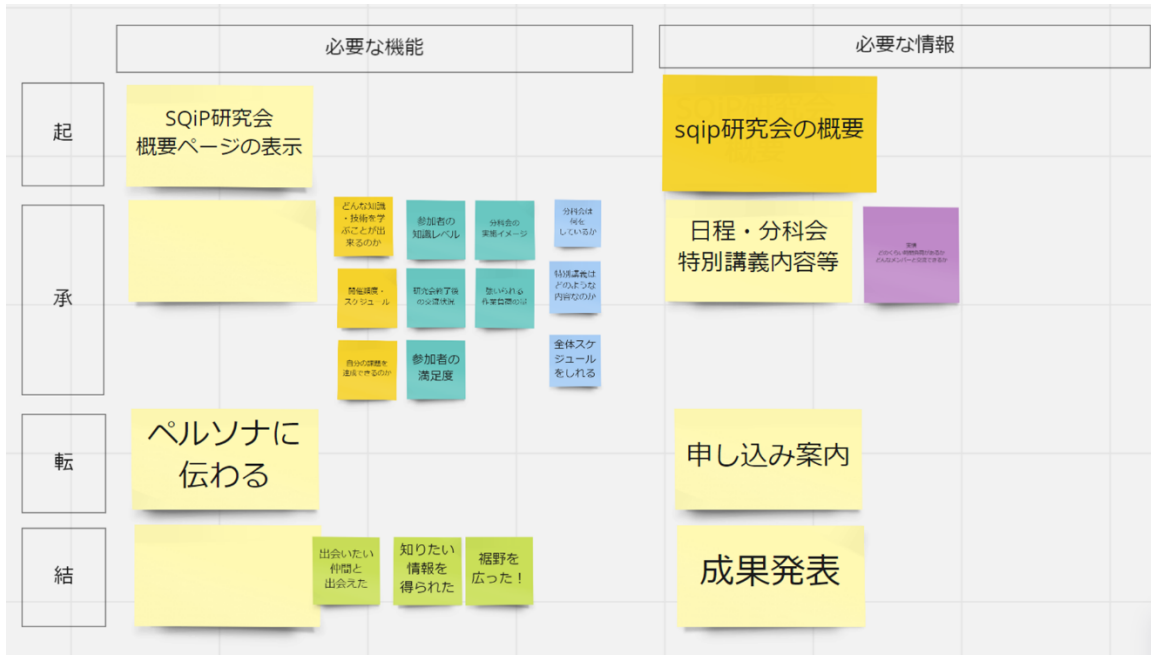
- ・ 一番最初のページ「何が起こるんだろう?」
- ・ おすすめ診断のページ「あ、なるほどこういうことね」
- ・ 「おすすめ診断」ボタン、押せるかどうかわかりにくい
- ・ 詳細ページに飛ぶというのがわかりにくい
- ・ コース選択というページ名だと、「コース一覧から選ぶ」というイメージ ⇒ 「コース選択の選び方を選ぶ」
- ・ 直で選びたい人にとってはネストが深い ⇒ コース一覧の下にボタン3つがよいのかも

2択の質問に答えることで適切なコースを選べる



A.6 チーム 6



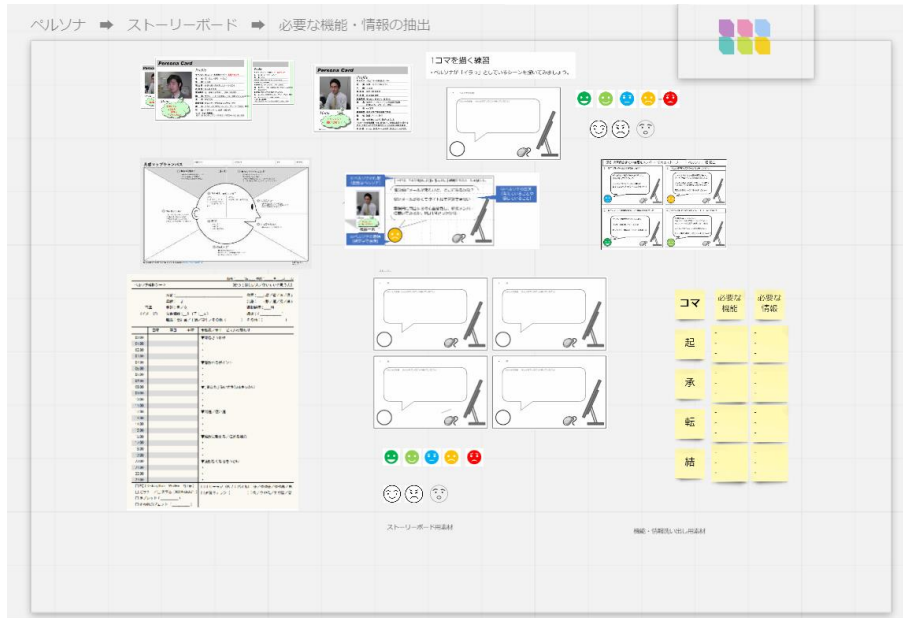


B. ユーザビリティテスト（「基礎コース」と合同）

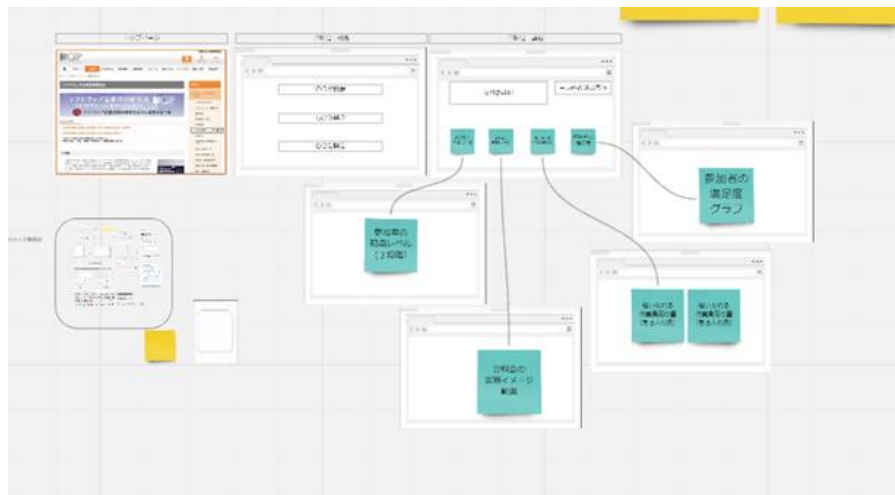
2 チームに分かれて、ペルソナ検討～プロトタイプ作成、ユーザビリティテストの実施と振り返りを行った。以下は、検討に使用したバーチャルボード Miro の画面と、実際にユーザビリティテストに使用したプロトタイプ画面である。（→ 本編 4. ユーザビリティテスト演習）

B.1 チーム1「文献検索」

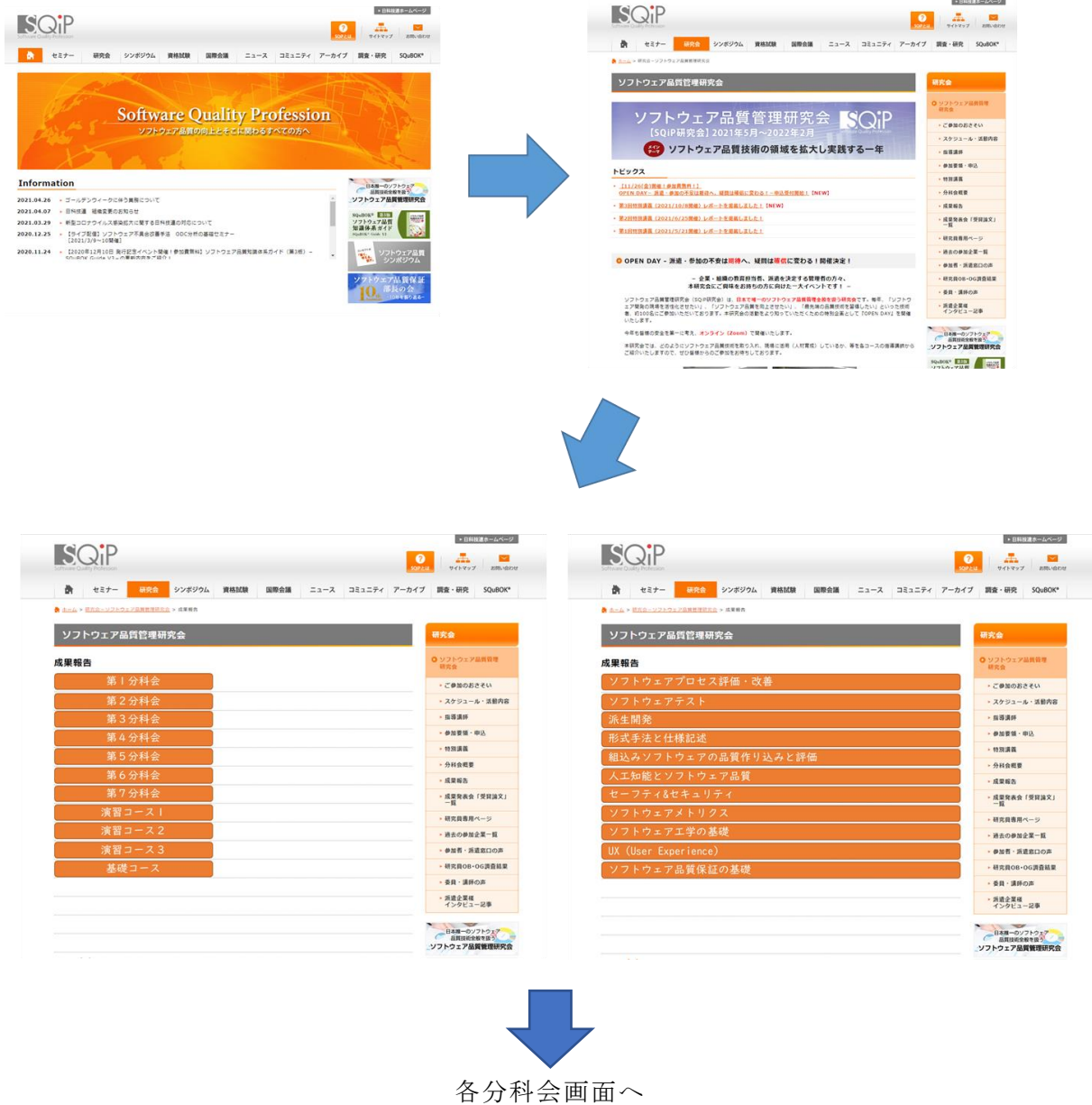
B.1.1 ペルソナ検討（バーチャルボード Miro）



B.1.2 プロトタイプ検討（バーチャルボード Miro）



B.1.3 プロトタイプ画面



各分科会画面へ

B.1.4 各分科会画面①

ソフトウェア品質管理研究会

第1分科会

ソフトウェアプロセス評価・改善

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

ソフトウェアレビュー

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

ソフトウェアテスト

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加のおさそい
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「発表論文」一覧
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・派遣費の請求
- 研究員08-06調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催 インタビュー記事

ソフトウェア品質管理研究会

第4分科会

プロジェクトマネジメント

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

ソフトウェア・ユーザビリティ —エンドユーザ視点でのソフトウェア開発—

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

組み込みソフトウェアの品質作り込みと評価

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加のおさそい
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「発表論文」一覧
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・派遣費の請求
- 研究員08-06調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催 インタビュー記事

ソフトウェア品質管理研究会

第2分科会

アジャイルと品質

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

リーダーシップとモチベーション

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

派生開発

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加のおさそい
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「発表論文」一覧
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・派遣費の請求
- 研究員08-06調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催 インタビュー記事

ソフトウェア品質管理研究会

第5分科会

プロジェクトマネジメント

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

ソフトウェア品質研究ゼミ

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

サービスの品質とCRM(Customer Relationship Management)

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加のおさそい
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「発表論文」一覧
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・派遣費の請求
- 研究員08-06調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催 インタビュー記事

ソフトウェア品質管理研究会

第3分科会

ソフトウェア工学の基礎

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

形式手法と仕様記述

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

ソフトウェアテスト

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加のおさそい
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「発表論文」一覧
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・派遣費の請求
- 研究員08-06調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催 インタビュー記事

ソフトウェア品質管理研究会

第6分科会

人工知能とソフトウェア品質

2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年
2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
2006年	2005年					

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加のおさそい
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「発表論文」一覧
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・派遣費の請求
- 研究員08-06調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催 インタビュー記事

B.1.5 各分科会画面②

ソフトウェア品質管理研究会

第7分科会

セキュリティ

2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2014年
2013年 2012年 2011年 2010年 2009年 2008年 2007年
2006年 2005年

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加の皆さま
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費等・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「要旨論文」等
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・満足度アンケート
- 研究員08-09調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催イベントニュース記事

ソフトウェア品質管理研究会

演習コース3

UX (User Experience)

2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2014年
2013年 2012年 2011年 2010年 2009年 2008年 2007年
2006年 2005年

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加の皆さま
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費等・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「要旨論文」等
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・満足度アンケート
- 研究員08-09調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催イベントニュース記事

ソフトウェア品質管理研究会

演習コース1

ソフトウェアメトリクス

2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2014年
2013年 2012年 2011年 2010年 2009年 2008年 2007年
2006年 2005年

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加の皆さま
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費等・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「要旨論文」等
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・満足度アンケート
- 研究員08-09調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催イベントニュース記事

ソフトウェア品質管理研究会

基礎コース

ソフトウェア品質保証の基礎

2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2014年
2013年 2012年 2011年 2010年 2009年 2008年 2007年
2006年 2005年

研究会

- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加の皆さま
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費等・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「要旨論文」等
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・満足度アンケート
- 研究員08-09調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催イベントニュース記事

ソフトウェア品質管理研究会

演習コース2

ソフトウェア工学の基礎

2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2014年
2013年 2012年 2011年 2010年 2009年 2008年 2007年
2006年 2005年

研究会

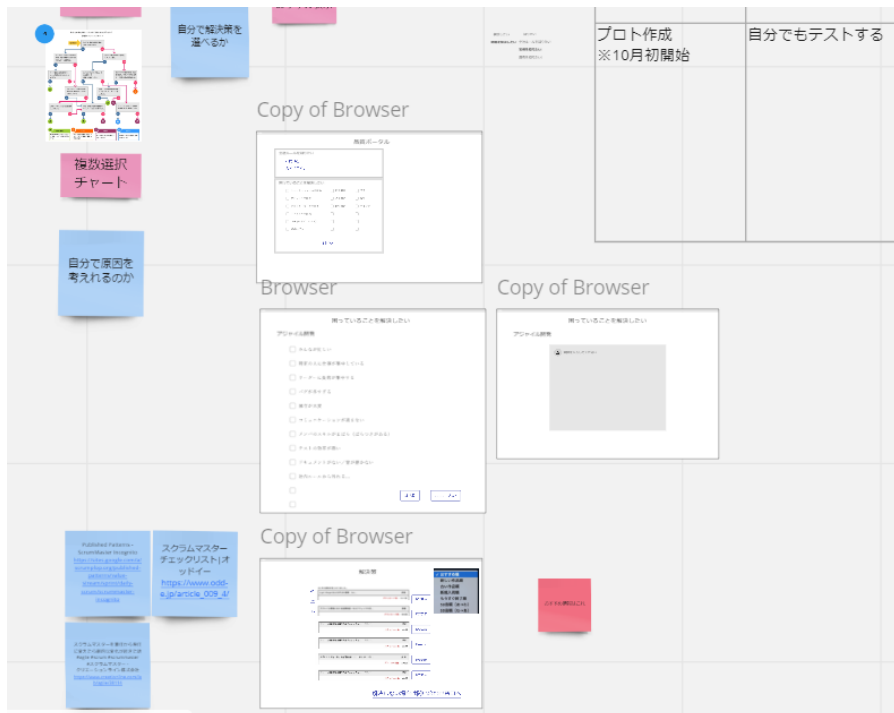
- ソフトウェア品質管理研究会
- ご参加の皆さま
- スケジュール・活動内容
- 指導講師
- 参加費等・申込
- 特別講演
- 分科会概要
- 成果報告
- 成果発表会「要旨論文」等
- 研究員専用ページ
- 過去の参加企業一覧
- 参加費・満足度アンケート
- 研究員08-09調査結果
- 委員・講師の声
- 研究会主催イベントニュース記事

B.2 チーム2「品質ポータル」

B.2.1 ペルソナ検討（バーチャルボード Miro）



B.2.2 プロトタイプ検討（バーチャルボード Miro）



B.2.3 プロトタイプ画面



困りごと解決画面へ

B.2.4 困りごと解決画面

困りごと解決

困りごとが起きているプロジェクトや現場で実施している開発手法を選んでください

ウォーターフォール開発 アジャイル開発 プロトタイプ開発 スパイラル開発

DevOps MVCEモデル

現在の局面を選んでください

新規開発 派生開発 保守開発

困りごとの分類 (どんなことに困っているか)を選んでください

予算 スキル アイデア 開発チーム

その他 (キーワード入力)

困りごと一覧

「アジャイル開発」に関する困りごとについて、以下が検索されました

アジャイル開発に慣れていない (従来の開発手法から脱却できない)

特定の人に仕事が集中している (メンバーのスキルにばらつきがある)

プロダクト品質が安定しない (バグが多すぎる)

テストの効率が悪い (テスト自動化が進まない, テスト設計がうまくできない)

ドキュメントの整備が不十分 (どういったドキュメントを残したらよいかわからない)

スクラムマスターが機能していない

プロダクトオーナーが機能していない

Chat Bot 画面へ

ゴール (検索結果) 画面へ

B.2.5 Chat Bot 画面



ゴール（検索結果）画面へ

B.2.6 ゴール（検索結果）画面

